



JBU 関東部会ニュースレター

2022年度主題 「心を一つに平和を求めよう」

主題聖句 終わりに、兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

コリント II 13:11

日本バプテスト
同盟
関東部会

新年礼拝 2023



総主事挨拶



理事長挨拶

2022年度、日本バプテスト同盟関東部会新年礼拝を2023年1月9日(月祝)に行いました。これまで、コロナ禍において、どのような新年礼拝の持ち方が良いか、感染予防の観点、関東部会にある諸教会諸団体の実情、また聖書に基づく信仰の観点から検討を重ね、今回は対面とオンラインの二つの参加の形態が選択できる形で実施しました。まず、新年礼拝の会場として会堂を使用させていただきました深川教会の皆さんに心から感謝いたします。深川教会は東京メトロ半蔵門線、都営大江戸線の駅に近く、近年、鉄道の相互乗り入れも整備されて、とても便利な場所にあります。今回、会場には20名の方が、またオンラインにて15名の方々が集っていただきました。オンラインという参加形態には遠方からでも時間をかけずに参加できるという大きなメリットがあります。またご高齢の方々などにとっても参加しやすいものであると思います。それぞれの場所で新年礼拝に集っていただきました。一方で、やはり会場に共に集い、交わりの恵みを共に経験できることは、本当に豊かなことに違いありません。ただ情報を共有するだけでなく、人格としてのリアルな触れ合いを経験することが出来、対面による

参加者お一人お一人が良き時をお持ちになったことと思います。

メッセージは久保園奈津子師。使徒言行録20章17節から24節より、「神を愛する」という説教題でメッセージをとりついでいただきました。私たちキリスト者にとって最も大切なテーマの一つかと思いました。

私自身はヘブライ人への手紙10章23節から25節にありますように、共に対面で集うことの大切さ、豊かさを思い巡らしております。「約束してくださったのは真実な方なので、公に言い表した希望を揺るがぬようしっかり保ちましょう。互いに愛と善行に励むように心がけ、ある人たちの習慣に倣って集会を怠ったりせず、むしろ励まし合ひましょう。かの日が近づいているのをあなたがたは知っているのですから、ますます励まし合おうではありませんか。」(ヘブライ人への手紙10章23節から25節)

礼拝後の分科会も、対面とオンラインの2つの形態で行いました。オンラインに関しては、15人全員で1グループとなったようです。始まる前には、時間がたっぷりあるように思っていたのですが、実際いくらかのテーマを出して話し合いますと、あっという間にその時間が過ぎたように感じました。互いの話を聴き合うということは信頼関係を深める大切な要素であると思います。幸いな分科会の時でした。ただ、皆さんのお話を聴いていて、私たちは今、大切な岐路に立とうとしているのではないか、ということを変えて考えさせられました。今、そしてこれからの時代に、私たちは神さまのみことば、主イエス・キリストの福音をどのように表し、分かち合い、宣べ伝えていくのか。ただ過去を懐かしみ、新しいあり方への試行錯誤を惜しんでは何も生み出されないのではないか。

今回の新年礼拝を通して、また大切な祈りのテーマをいただいたように思いました。皆さまの上に神さまの祝福と恵みが豊かにありますように、お祈りいたします。

(部会委員 中野博誉 潮来教会)

～ 部会の賛美グループが動画での賛美奉仕をしました ～

前奏 Joyful, Joyful, We Adore Thee
トーンチャイムクワイアー



音源のQRコードです。
どうぞ聴いてください。



賛美 讃美歌21-371 このこどもたちが
ヒム・フレンド



音源のQRコードです。
ご一緒に歌いましょう。



杉並中道教会

2022年3月末日より杉並中道教会は無牧となり、新年度に向かい教会員、役員会の苦闘が始まりました。

神様のお導きにより日本バプテスト厚木教会の久保親哉牧師が代務者となり、杉並中通教会の責任者の仕事を引き受けてくださり教会の主軸ができました。

その後関東地区の十数名の牧師先生方をお願いをし、ご協力をいただいて毎週主日礼拝を守る事が出来ています。主日礼拝のメッセージを担当して下さっている先生方のご奉仕に感謝するとともに、神様のお導きお働きに教会員一同深く感謝して日々を送っています。

主日礼拝参加者13～15名ですが信仰に結ばれたメンバーが教会の将来を信じて礼拝を守っています。

教会員のミャンマーのご夫婦には新しい命が与えられ、もう歩けるようになりました。高齢のメンバーが多くなっていますが若い息吹が感じられるようになり、祈りに応え、次年度からは新しく若い主任教師が与えられることを信じ、全てが神様の作られた道筋に従って進んでいることを憶え、感謝の中で教会生活を守っています。(谷 光明)



バプテスト羽村教会

コロナ禍でも礼拝は通常通り継続していました。加えてネット配信、近隣の信徒には当日の礼拝メッセージ要約(B5で2ページ)と週報を礼拝後に配っています。ネット配信するに当たり、22年間使っていた音響システムでは対応が難しくなりシステム全てを総取り替えしました。この状況下で主の恵みが顕著になった事は、意外に配信で見ている人が多い事が分かった事と、メッセージ要約が礼拝に出席している人からの要望もあった事です。何よりも、普段親しくしてる近所の方々にも聖書を配り、毎週メッセージを投函できるようになった事は喜びとなりました。私達は、人が礼拝に来るようにと願いますが、その前に御言葉の種をこのように蒔けるなら、礼拝に来る扉は半分開かれているのだと思わされます。人は、何も分からずに礼拝に来ようとは思いません。しかし、下ごしらえがあれば、来る気になった時に自然に教会に入れるのではないかと、主に期待しています。(横山 早紀子)



第65回関東部会定期総会のご案内

主の御名を賛美いたします。2022年度も間もなく終わろうとしています。今年度も皆様のご協力に部会委員一同感謝申し上げます。さて、2020年から始まったコロナウィルス感染症はようやく終息を迎えようとしています。3月13日からは感染予防対策のハードルがかなり低くなり、マスク着用は個人の判断に委ねられるようになりました。感染のリスクは0ではありませんが、いわゆる3密(密閉・密集・密接)を避けることにより、流行を抑えることができることがわかってきました。いよいよ5月からは、医療機関でもインフルエンザと同じ取り扱いになるとのことです。

関東部会委員会はこれらの状況から判断し、第65回関東部会定期総会を対面で行うことを決定いたしました。つきましては、各教会、協力団体より代員の方をお送りくださいますようお願いいたします。

またあらかじめお伝えしておりますが、次年度は部会委員の改選期となっておりますので、各教会より信徒候補者1名のご推薦をお願いいたします。

日 時:2023年5月21日(第三主日) 午後3時～

会 場:日本バプテスト横浜教会

議案書は、4月20日(木)に発送いたします。出欠票並びに委任状の締め切りは5月10日(水)です。くれぐれも期日をお守りいただき、ご返信くださいますようお願い致します。

(関東部会委員長 清水美穂)

♪JB誌4月の賛美歌より

月間JB誌に掲載している「今月の賛美歌」をこちらにも紹介しています。

どうぞ動画のQRコードをピッと読み込んで聴いて歌ってください。

～同盟教会音楽委員会～ (担当:鈴木敦子)



「共におられるイエス様」

作詞:野田芳子 作曲:田村義明

① うた、ギター:田村義明

② 手話賛美:キッズクワイヤ 指導:徳田博子
伴奏:東間千鶴子 手話指導:鈴木敦子

